

沖縄・泡瀬干潟

埋め立て工事中止を求める全国署名

〈趣旨〉

貴重な生物の宝庫である沖縄本島東海岸の泡瀬干潟を2002年、国はリゾート開発の名目で大規模な造成工事を始めました。

2009年、反対住民の起こした訴訟で、公金差し止めの判決が下り、中止となったにもかかわらず、国は計画を作り直し、昨年（2011年）10月工事を再開したのです。総事業費1200億円もの血税が美しいサンゴの海を破壊するために投じられようとしています。

東日本大震災に国民の目が向けられている隙に、現政権はこの暴挙を企て、「コンクリートから人へ」のマニフェストをまた裏切ろうとしているのです。辺野古新基地建設の下ならしとも言われています。

住民は那覇地裁に再提訴していますが、こうしている間にも埋め立てが進んでいます。今すぐ工事を中止させ、ラムサール条約登録湿地の候補地・泡瀬を守らなければなりません。

1人でも多くの方の署名を集め、沖縄の「泡瀬干潟を守る連絡会」と連帯し、強力に政府に訴えていきたいと思えます。

ご協力をお願いいたします。

2012年2月3日

基地のない沖縄をめざす宗教者の集い

〒176-0013 練馬区豊玉中1-39-1

カトリック徳田教会内

TEL 03-3991-2101

FAX 03-3948-3228